



SAP Ariba 

機能の概要

Contract Workspace Modification API の機能強化

Keertan Rai/Prasad Karani、SAP Ariba

一般提供予定: 2020 年 11 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: Contract Workspace Modification API の機能強化

導入の難易度
対象エリア

やや複雑
グローバル

今までの課題

現在は、SAP Ariba UI 以外の方法で契約改訂をトリガするためのインターフェイスがありません。そのため、契約ワークスペースと外部アプリケーションの関連オブジェクトの改訂および更新をトリガしたいお客様に対して、API の使用が制限されていました。

SAP Ariba で問題解決

現在、Contract Workspace Modification API では、ドラフトワークスペースのみで、ワークスペースの 1 つの契約ワークスペースメタデータ（ヘッダーフィールド）の詳細を更新できます。この変更により、お客様は以下のことが可能となります。

- SAP Ariba で公開済み契約ワークスペースの改訂を作成し、SAP Ariba Procurement ソリューションで対応するコンプライアンス契約申請を作成します。
- 改訂処理の後、お客様は、前の手順の改訂理由に対応するフィールド値を更新できます。

主なメリット

API では、Ariba UI 以外の方法で契約ワークスペースと関連オブジェクトの改訂をトリガするための標準的なインターフェイスを提供します。

API を使用することにより、SAP ソリューション以外のフロントエンドおよび実行アプリケーションを使用している場合に、これらのアプリケーションから公開済み契約ワークスペースと、コンプライアンス契約などの関連オブジェクトを簡単に更新できるようになります。

お客様は、エンドユーザーにとって容易なプロセスのモデルを作成できます。

対象ソリューション

SAP Ariba Contracts
SAP Ariba Strategic Sourcing Suite

SAP Ariba APIs

SAP Ariba Developer Portal

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます。

前提条件と制限事項

ドキュメントを参照してください。

機能の概要

説明: Contract Workspace Modification API の機能強化

使用例

Contract Workspace Modification API を使用して公開済み契約を改訂します。改訂処理によって、指定した改訂理由に従って、契約ワークスペースと、契約条件などの関連オブジェクトの更新が可能になります。たとえば、改訂処理の後、Contract Compliance API を使用して、契約条件の詳細を更新できます。

Contract Compliance API とともに Contract Workspace Modification API を使用して、SAP Ariba Procurement ソリューションと SAP Ariba Contracts の両方で契約を作成し、管理するソリューションを開発できます。

ユーザーは、契約ワークスペースと、契約ワークスペースにある関連オブジェクトの改訂を作成できます。

お客様は、公開済み契約の値を更新する前に、契約ワークスペースの改訂を作成する必要があります。お客様は、Contract Workspace Modification API 呼び出しで、サポートされている任意の改訂種別と改定理由を渡すことができます。

さらに、同じ Contract Workspace Modification API を呼び出して、改訂理由に従って、許可されているフィールドの値を更新するか、SAP Ariba Procurement ソリューションの Contract Compliance API により契約条件を更新します。

前提条件

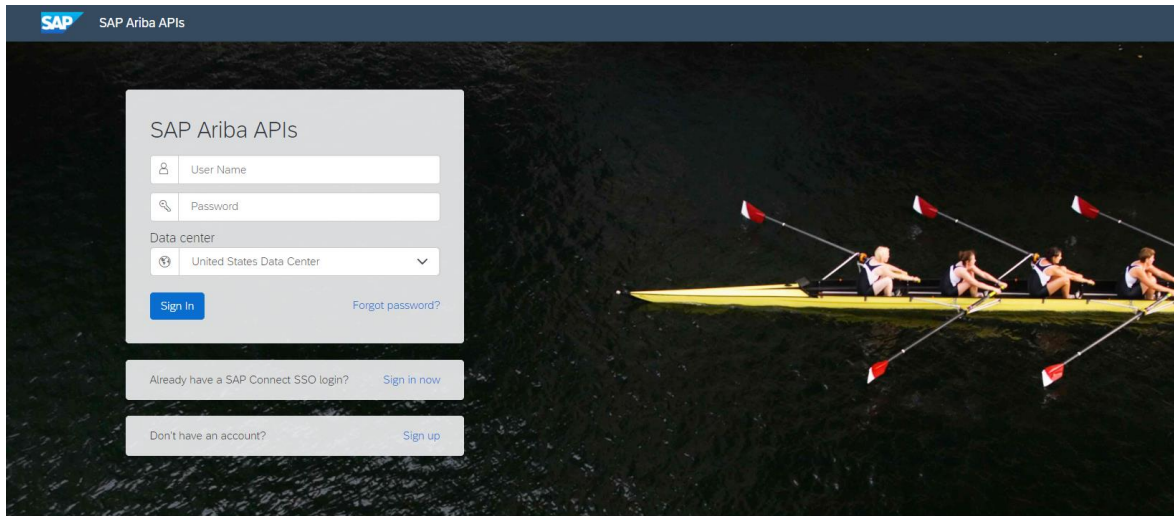
アプリケーションで SAP Ariba Contracts にあるデータにアクセスできるようにするには、以下の情報を SAP Ariba カスタマサポートに提供します。カスタマサポートがアプリケーションをサイトにマッピングします。

- clientID: OAuth クライアント ID
- テナント: SAP Ariba サイト (レルム) の名前

機能の概要

説明: Contract Workspace Modification API の機能強化

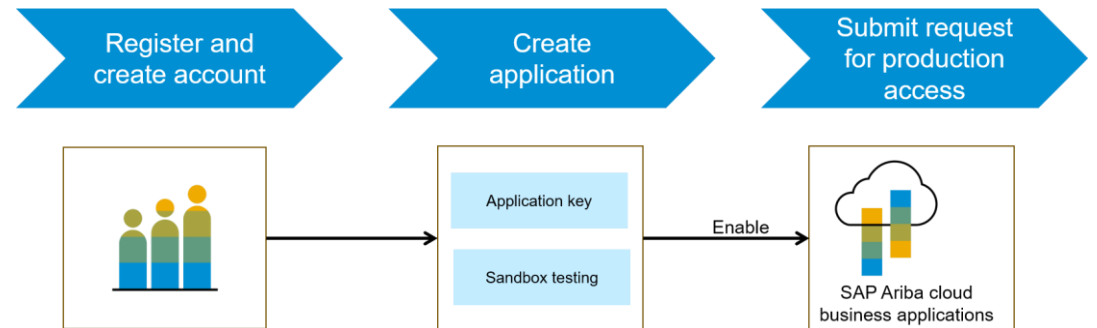
API を使用するアプリケーションの開発方法



Build powerful domain specific applications to address your customer needs using a rich environment and user friendly tools offered by SAP Ariba.

<https://developer.ariba.com/api/> に移動します。

[Learn (詳細)] セクションを確認し、アプリケーションの開発方法に関する詳細を理解します。一般的に、アプリケーションを開発するプロセスには以下のステップが含まれます。



1. Developer ポータルでの登録後に、SAP Ariba Contracts で使用可能な API をチェックし、各 API の詳細を確認します。
2. 新しいアプリケーションを作成し、アプリケーションを有効化してアプリケーションキーを取得します。
3. <http://connect.ariba.com> で、サービスリクエストを提出し、作成したアプリケーションの「本稼働アクセス」を申請する必要があります。申請が承認されると、OAuth クライアント ID が生成されます。

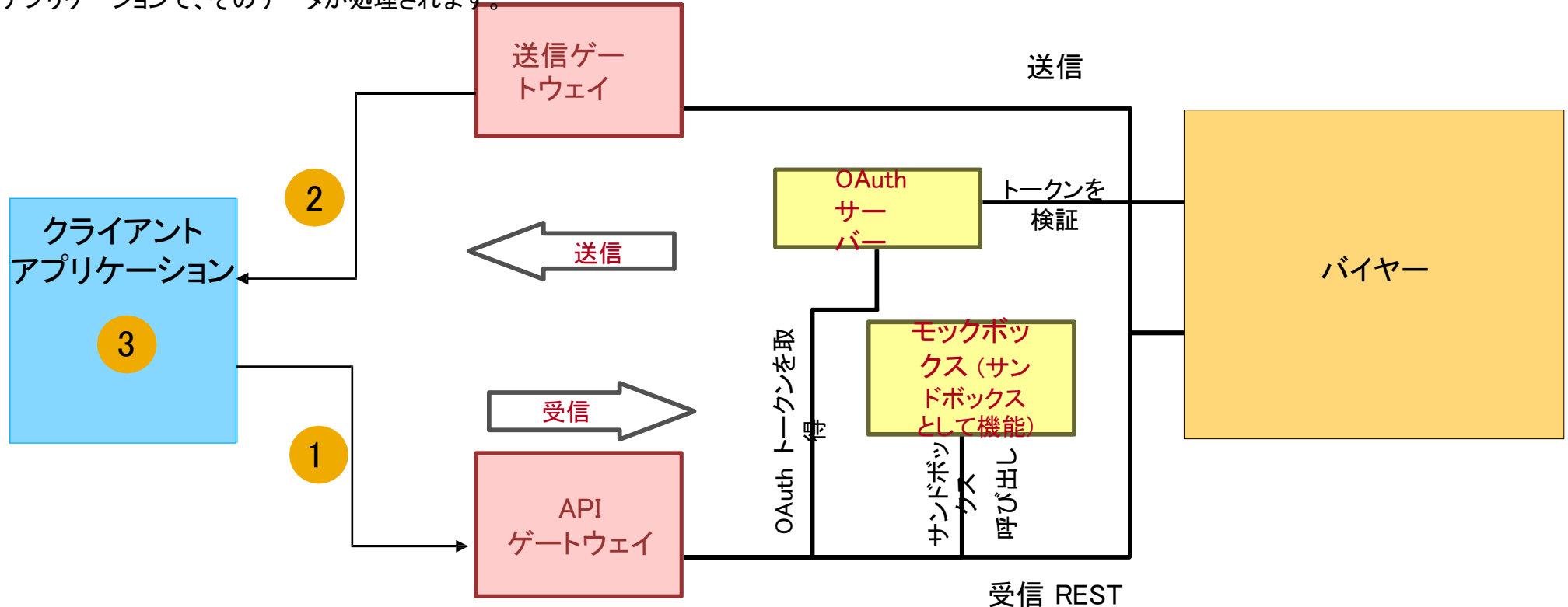
4. バイヤー管理者として、自分のプロフィールに OAuth クライアント ID を追加し、

機能の概要

説明: Contract Workspace Modification API の機能強化

Contract Workspace Modification API のワークフロー

1. クライアントアプリケーションで、定義済みのパラメータセットを使用して Ariba Contracts または Sourcing に対するクエリが実行されます。
2. API が クエリに応答し、一致するレコードを含む JSON データセットを返します。
3. データを受け取ったアプリケーションで、そのデータが処理されます。



機能の概要

説明: Contract Workspace Modification API の機能強化

サンプルコード

以下のサンプルコードの `{{runtime_url}}` を、SAP Ariba Developer Portal で、この API の Discovery ページにある [Environment Details (環境詳細)] テーブルに記載されている目的の実行時 URL に置き換えてください。

以下は、指定した契約ワークスペース ID を改訂、またはその改訂を完了する例です。

```
POST {{runtime_url}}/contractWorkspaces/{contractId}/state? user=user1&passwordAdapter=pwd1&realm=realm1
```

例: `POST {{runtime_url}}/contractWorkspaces/CW1234/state?user=customersupportadmin&passwordAdapter=PasswordAdapter1&realm=s4All-8`

[申請ファイルを確認する場合はこちら、応答ファイルを確認する場合はこちらをクリックしてください。](#)

このほかの Swagger の例については、次のサイトの [Discover] セクションを参照してください: <https://developer.ariba.com/api/>

ありがとうございました。